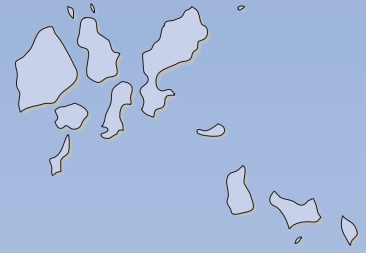




1月10日
～2月4日



上島町

自らの地域は自ら守る

平成21年

上島町消防出初式

《被表彰者》

◆愛媛県知事表彰【功労章】

松本 幸久（岩城方面隊第2分団 副分団長）
菅 譲二（弓削方面隊第2分団 部長）

◆愛媛県消防協会長表彰

【竿頭綬章】

上島町消防団

【功績章】

横井 義弘（魚島方面隊 方面隊長）

【勤続章】

茂木 昭彦（生名方面隊第3分団 団員）
大林とくみ（生名方面隊第2分団 班長）
百崎 光延（生名方面隊第1分団 副分団長）
澤田 一政（岩城方面隊第3分団 団員）
児島 均（岩城方面隊第2分団 団員）
林 清二（岩城方面隊第1分団 団員）
佐伯 雅彦（魚島方面隊第1分団 団員）
村上 尚（弓削方面隊第2分団 団員）
梨木 善彦（弓削方面隊第4分団 団員）

感謝状【家族内助の功】

石本 忠正・由美（岩城方面隊 方面隊長）
古本 敬・久美子（岩城方面隊第1分団 分団長）
田房 秀夫・早苗（弓削方面隊第1分団 分団長）
谷 高吉・和子（弓削方面隊第2分団 団員）
澤田 英雄・多加子（弓削方面隊第2分団 団員）

◆上島町長表彰

北野 勝（生名方面隊第1分団 団員）
山本九十九（生名方面隊第3分団 団員）
村上 雅信（生名方面隊第3分団 団員）
岡野 英明（岩城方面隊第2分団 団員）
野間 正敏（魚島方面隊第1分団 団員）
舩田 力男（弓削方面隊第1分団 団員）
立川 幸信（弓削方面隊第1分団 団員）
田中 耕作（弓削方面隊第1分団 団員）
田窪 鉄也（弓削方面隊第2分団 団員）
種橋 英己（弓削方面隊第2分団 団員）
藤田 直弥（弓削方面隊第4分団 団員）

そして、分列行進、地域消防に功績のあった団員の表彰を行った後、上村町長は、「上島町で大きな災害が少ないのは消防団員の平素からの予防活動の賜であり、消防団員組織率が愛媛県下1位であるのは地域・ふるさとを愛する心、地域の皆様に尽くす義の心であると感謝します」と講評・挨拶を述べました。

その後、来賓の皆様が祝辞を述べ、消防団員・消防職員は、使命の重大さを再認識し、新たな闘志を奮い立たせていました。

最後に、被表彰者代表の松本幸久氏による謝辞、檜垣消防団長による答辞が述べられ、式は終了しました。

1月25日、寒風が吹き抜ける大変厳しい寒さの中、弓削小学校グラウンドにおいて、平成21年上島町消防出初式が挙行され、上島町消防団員・上島町消防職員の総勢268名が参加しました。

式典では、姿勢・服装点検及び機械器具の点検に続いて、各方面隊による小型ポンプ操法、弓削方面隊によるポンプ車操法が行われ、日頃の訓練の成果を存分に披露しました。



小型ポンプ操法



消防団長答辞



愛媛県知事表彰受賞者

少年式

～自覚・立志・健康を誓う～

2月4日、弓削・岩城・魚島中学校において、「少年式」が挙行され、保護者や関係者が見守る中、満14歳になった中学2年生が、決意も新たに大人への第一歩を踏み出しました。そこで、少年式を迎えた皆さんに「決意の言葉」をお聞きしましたので、ご紹介します。

弓削中学校【39名】



- ◇常に目標をもち、目標に向かって努力する。 上村 拓生
- ◇できるだけ自分の力で頑張る。 大本 和人
- ◇何事も最後までやりとげる。 岡 夏主馬
- ◇目標に向かって日々努力する。 尾崎 健
- ◇人に言われる前に自分から行動する。 越智 大貴
- ◇最後まで諦めずに努力する。 北野 康希
- ◇何事にも挑戦する。 小林 佳博
- ◇何事も諦めず、努力する。 佐伯 拓朗
- ◇人の気持ちを考えられる人になる。 佐伯 流星
- ◇何事にも挑戦できる人になる。 坂井 孝圭
- ◇自分の言動に責任をもつ。 蓼原 彰吾
- ◇何事にも全力を尽くす。 田中 魁人
- ◇健康管理に気をつける。 田中 翔太
- ◇自分に甘えず、勉強・スポーツに励む。 中溝 亮
- ◇誰にでも優しく接することができ人になる。 永本 迪隆
- ◇何事にも努力できる人になる。 西中 一馬
- ◇計画的に勉学に励む。 藤田 悠希
- ◇常に目標をもち、それに向かって努力する。 升田 政道
- ◇みんなから信頼されるように努力する。 宮原 啓介
- ◇何事も最後まで諦めずに取り組む。 村上 朋也
- ◇一步一步前に進む。 山下 一将
- ◇失敗を恐れず、何があっても前に進める人になる。 青木 夏海
- ◇周りの人に甘えず、いろんなことに挑戦する。 池本 美和
- ◇寛大な心をもち、みんなに優しく接する。 岡野由有花
- ◇毎日笑顔を忘れず元気に過ごす。 岡野裕美子
- ◇何事にも全力で取り組む。 小田 萌子
- ◇日々努力する。 河端 郁見
- ◇今を後悔しないように過ごす。 小林 育未
- ◇他人に優しく、自分に厳しくする。 阪井 伶名
- ◇何事にも一生懸命取り組み、最後まで諦めない。 高田安佳莉
- ◇何事にも目標をもち、挑戦する。 田窪 千暖



岩城中学校【13名】



- ◇簡単に折れない強く優しい心をもつ。 長尾 好夢
- ◇何事にも一生懸命取り組み。 梨木 成実
- ◇誰にでも優しく接し、常に笑顔で過ごす。 西倉 瑛理
- ◇何事も一生懸命やりぬく。 藤田あかり
- ◇優しい心をもった人になる。 水野 菜月
- ◇自分の選んだ道を最後まで進む。 村上麻矢加
- ◇自分の行動に責任をもつ。 村上 由香
- ◇毎日を明るく元気に過ごす。 村上優莉菜

「少年の日」は、暦のうえで立春にあたり、満14歳になった少年たちをみんなで祝福する日です。
14歳を大人の第一歩と考え、社会の一員として日々の言動に責任をもち、自己の能力や特性を発揮する知・徳・体に調和のとれた、人間性豊かな生徒を育成するという意義深いものです。

- ◇自分の行動に責任をもちたい。
幸本 竜弥
- ◇自分でできることを進んでやっていきたい。
砂川 隆哉
- ◇自分のベストを尽くして、生活していきたい。
田中 一翠
- ◇視野を広げて、自分から動けるようにしたい。
田中 真聖
- ◇何事にも積極的に行動したい。
林 謙太郎
- ◇自覚をしっかりともち、目標に向かいたい。
林 真史
- ◇夢に向かって走り続ける。
古林 和真



魚島中学校【1名】

- ◇目標に向けて努力していきたい。
森本 敦喜
- ◇目標に向かって頑張りたい。
加納 莉沙
- ◇自分の夢に向かって頑張っていきたい。
小林彩奈笑
- ◇人との触れ合いを大切にしていきたい。
田名後 滯
- ◇日々努力して、後悔のないようにしたい。
宮本 葵
- ◇責任をもって物事に取り組みたい。
村上 もも
- ◇新たな気持ちで頑張りたいと思います。
竹内 哲也



「古式行事」〜今年一年の無病息災を願いました〜
上島各地で新春の祝い行事である「とんど焼き」及び「弓祈禱」が行われました。島それぞれに形態はちがいますが、とんどの火でしめ縄を焼いたり、餅を焼いて食べる習慣や祈禱してもらおうことが、その一年の無病息災につながる意は同じようです。



西部地区（1月12日）



生名地区（1月9日）



魚島地区（1月15日）



佐島地区（1月11日）



上弓削地区（1月17日）



下弓削地区（1月11日）

第52回 上島町弓削駅伝大会

1月18日、せとうち交流館をスタート・ゴール地点に、第52回上島町弓削駅伝大会が開催されました。当日は曇り空でしたが、全85チームが参加し、全チーム心をひとつにしてタスキをつなぎ、風光明媚なコースで激しいレースを繰り広げました。

Aコース (6区間7.68km)

■小学生男子の部 (参加18チーム)

- 優勝 岩城小学校A (28分04秒)
 第二位 生名小学校A (28分24秒)
 第三位 長江子ども会A (28分41秒)
 第五位 弓削小A

【区間賞 (町内小学生のみ)】

- 1区 村上 晃平 (岩城)
 4区 藤川 篤 (弓削)
 5区 高田 翔 (生名)
 6区 幸本 伊織 (岩城)

■小学生女子の部 (参加15チーム)

- 優勝 長江子ども会A (29分17秒)
 第二位 伯方小女子A (30分13秒)
 第三位 岩城小学校A (30分46秒)
 第五位 弓削小学校A
 第六位 生名小学校A

【区間賞 (町内小学生のみ)】

- 6区 林 樹里 (岩城)

■中学生女子の部 (参加9チーム)

- 優勝 吉海中学校 (27分03秒)
 第二位 弓削中学校A (28分11秒)
 第三位 新居浜市立西中 (28分44秒)
 第四位 弓削中学校B
 第六位 弓削中学校C

■オープン参加 (参加23チーム)

- 優勝 伯方中学校 (26分40秒)
 第二位 三原三中クラブ (27分59秒)
 第三位 小川工務店 (29分27秒)



Aコースのスタート



岡野さんによる選手宣誓

Bコース (6区間15.17km)

■中学生男子の部 (参加10チーム)

- 優勝 三原第五A (50分11秒)
 第二位 三原三中A (51分39秒)
 第三位 新居浜市立西中 (51分42秒)
 第四位 弓削中学校A
 第五位 弓削中学校B

【区間賞 (町内中学生のみ)】

- 2区 佐伯 拓朗 (弓削)
 5区 尾崎 健 (弓削)

■高校の部 (参加2チーム)

- 優勝 今治北高等学校 (47分54秒)
 第二位 激走戦隊弓削レンジャー (54分55秒)

■一般の部 (参加8チーム)

- 優勝 尾道疾風クラブB (55分26秒)
 第二位 上島町消防本部 (56分08秒)
 第三位 しまなみAC (57分00秒)



壮絶な区間賞争い



見事なタスキ渡し

『友愛の水・心の交流』

現在、上島町の貴重な飲料水は広島県中国山地の旧福富町から三原市まで流れている沼田川より海底送水管で送られています。平成元年4月までは、上島の島々は慢性的な水不足に悩まされ、簡易水道は整備されていたものの給水制限があり、梅雨時期の降雨量に一喜一憂していました。しかし、この県境を越えた海底送水事業は、島々の全ての環境を一変させ、人々を生き生きとし、植物は瑞々しく生活は一転しました。上島町では、この命の水に感謝を込めて『友愛の水』と名付け、記念公園やモニュメントをつくり忘れることのないように心に刻んでおります。こうしたことから、源流のまち旧福富町(現東広島市)と下流のまち旧弓削町がこの友愛の水を介した交流を重ねてきましたが、両町の合併を期に、この度上島町と東広島市が「友愛の水・心の交流」を、いままで育んできた民間の自発的な交流を支援しつつ末永い交流を図っていくことになりました。皆様も、感謝を忘れずこの交流を続けていきましよう。



上島町年賀交歓会

1月10日、せとうち交流館において上島町商工会主催の上島町年賀交歓会が開催されました。商工会会員や町議会議員、地区役員、町内の各種団体など約70人が集まり新年のあいさつを交わしながらにぎやかに歓談し、親睦を深めていました。



「黄金千貫の芋菓子」

人気ランキング第6位

東京（新橋）にある愛媛県・香川県共同アンテナショップ「せとうち旬彩館」の2008年愛媛県産品人気ランキング6位に本町の「黄金千貫の芋菓子」が入りました。

せとうち旬彩館には芋菓子の他にも上島町特産品を販売しており、ぜひ、お立ち寄りください。



災害に備える！上島町災害対策本部

立ち上げ図上演習実施

2月2日、愛媛県東予地方を震源とした大規模地震が発生したとの想定で、「上島町災害対策本部立ち上げ図上演習」が消防庁舎2階の大ホールで実施されました。当日は、本部長である上村町長をはじめとする三役、各支所の幹部職員及び消防本部の職員など総勢36名が参加し、災害対策本部と各支所との発災時の情報収集、発信などの対応を主体に、付与される災害情報に対して如何に迅速・的確に対応するかというものでした。演習が始まると、各支所には土砂崩れや家屋倒壊による生き埋め事故や負傷者発生などの災害情報が矢継ぎ早に付与されるため、各支所の職員は初めての規模な地震災害の図上演習ということもあり、的確な対応や災害対策本部への情報の発信がスムーズに出来なかつたりしましたが、どの職員も真剣な表情での演習となりました。今回の演習の成果は、課題事項への対応など反省点が多く満足のいくものではありませんでした。訓練を初めて体験したことにより実際の災害時の対応の難しさや訓練の必要性を幹部職員一人ひとりが再認識しました。



生名地区

「ばくばく・きっず」

1月19日、生名保育所において食育教室「ばくばく・きっず」を開催しました。今回のテーマは、魚食推進員さんによる「お魚まるごと体験」です。初めは、アジやイカ・タイ・ホゴなど用意された生の魚におそろおそろ触れていた子どもたちですが、慣れてくると活き車エビを大胆にキヤッチしていました。続いて「イワシの蒲焼き丼」作りに挑戦し、子どもたちは手の平サイズのイワシを上手に手開きしていました。最後に、みんなできあがった丼と骨せんべいをパクリとたいらげました。



「還暦節分豆まき」

2月3日、生名八幡神社において「還暦節分豆まき」が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの住民が集まり色とりどりの傘が境内に溢れていました。丑寅会の41名の皆さんが本殿前に集まり、毛利美由紀さんが挨拶を行うと、さあ豆まきの開始です。雨のせいで手渡しとなりましたが、多くの方と会話しながら豆を渡すことが出来たので、例年とは違った雰囲気の良い豆まきになったと思います。その後、丑寅会から日頃の感謝の気持ちと共に、上島町社会福祉協議会へ車椅子1台、車椅子で乗れる体重組成計1台を寄贈されました。



岩城地区

岩城浄光寺本堂
及び地藏堂
国の登録有形文化
財（建造物）登録

上島町岩城、浄光寺（本堂・地藏堂）が、平成20年12月12日の文化庁文化審議会において、登録有形文化財（建造物）として文部科学大臣に答申されましたが、平成21年1月8日付けをもつて文化財登録原簿に登録し、官報に告示（平成21年1月22日付け文部科学省告示第4号）されました。



おさかなにさわってみよう！岩城保育所

1月14日、おさかなママさんによるキャラバン隊が岩城保育所を訪れました。まずは『魚を食べると身体が元気になる』『海を汚してはいけない』などと人形劇で子どもたち呼びかけました。続いて、はまち、かわはぎなど魚を手で触ったり、つかんだり大興奮でした。また、たこをゆがく実演もあり、「このたこをゆでると、こんな風に赤く丸くなるよ。」と教えてもらいました。近年、家庭で魚を調理することが少なくなっているため、さかなに触れたり、見たりすることに大喜びする子どもたちを見て、キャラバン隊の皆さんは、この魚食普及活動に改めて思い入れを深くしていました。



レモン懐石づくりに挑戦！

2月3日、上島町生活研究協議会岩城グループが、岩城小学校5年生12名を対象に、えひめ食農教育推進事業の一環として、レモン懐石の体験講座を行いました。

子どもたちは、でべそおばちゃん3人のお手本を見ながら、レモンの実をくりぬいて器を作ったり、豚しゃぶ肉を野菜とレモンのスライスで巻く「トンだレモン」を、みんなで協力しながら作りました。

グループ員は、子どもたちとの交流や郷土料理の伝承ができるので毎年実施していきたいと話されていました。



岩城保育所 食育教室

1月16日、岩城保育所において年長児を対象に食育教室を実施しました。保健センターの管理栄養士によるかんきつ類についての話や、みかんを使ったゼリー作りに挑戦しました。ゼリーが固まるのを待つ間、いよかん、ネーブル、レモンなどの食べ比べを行いました。みかんゼリーの試食では、子どもたちが岩城でとれたみかんを自分たちでしぼり、できあがったゼリーを満足そうに食べていました。



魚島地区

健康づくり調理実習

1月27日（火）魚島保健福祉センターにおいて、健康づくり調理実習が行われました。はじめに保健センターの管理栄養士より、健康づくりのための運動指針や食事バランスガイドについて述べられ、続いて、調理実習に移り、スキムミルク入りご飯・紅茶豚・香味噌和え・あられ碗・抹茶かんとんケーキを作りました。

午後からは、魚島保育所の食育教室が行われ、「上島町でできる食べ物を知ろう」とみかんの種類を教わり、上島町の色々なみかんを食べ比べました。その後みかんゼリー作りにチャレンジ!!自分たちで半分は切ったり、搾ったりして出来上がったみかんゼリーを美味しそうに食べていました。

